

第65回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会
アジア婦人科ロボット手術学会学術集会2025
スポンサードシンポジウム1

最前線のラパロ手術とロボット手術

～合併症を減らすための対策 基礎から応用まで～

日時 2025年9月18日(木) 16:50～18:20

会場 第2会場 城山ホテル鹿児島 2F クリスタルガーデンA

座長



金尾 祐之 先生
がん研究会有明病院 婦人科

演者



電気メス・器械特性
FUSE:電気メスの基礎から応用まで

小澤 梨紗子 先生
がん研究会有明病院 婦人科

合併症のない真の低侵襲手術には、自らの武器であるエネルギーデバイスの特性の理解が不可欠である。本セッションでは、主にモノポーラの特性と、止血時に有用なソフト凝固について、実臨床での使用法を交えて解説する。



子宮体癌手術の基礎・応用 腹腔鏡編

林 茂徳 先生

東邦大学医療センター大橋病院 産婦人科

早期子宮体癌に対する子宮全摘は、正常大の子宮も多く初学者の登竜門的に行われることも散見する。しかしながら安易な手術操作は再発をまねく恐れもあり注意が必要である。本講演では手術操作において最低限必要な点につき論じたい。



子宮体癌手術の基礎・応用 ロボット編

松浦 基樹 先生

札幌医科大学 産婦人科学講座

がんの手術で重要なのは、根治性・再現性・安全性である。ロボット手術は精緻且つ快適な操作が可能で、それらを高い水準で実現できる。本講演では、子宮体癌に対するロボット手術を臨床動画と共に考察する。



TLHの基礎・応用 腹腔鏡編

玉手 雅人 先生

札幌医科大学 産婦人科学講座

良性疾患こそバリエーションが多彩で定型化が難しく、巨大腫瘍・癒着例では経験・知識が要求される。経験をパターン動画で補完し、視野に知識を写すことで、まだ見ぬ症例の戦略と一緒に立てましょう。



TLHの基礎・応用 ロボット編

竹中 慎 先生

昭和医科大学 産婦人科学講座
北里大学北里研究所病院 婦人科

ロボット支援下子宮筋腫手術において、巨大筋腫は高難度症例の一つである。重要なのは、巨大でも通常の術式パターンに持ち込むことである。そのために有効な戦略や注意点、具体的なTipsについて解説する。

共催:第65回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会／
アジア婦人科ロボット手術学会学術集会2025
コヴィディエンジャパン株式会社

© 2025 Medtronic. Medtronic及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。



Medtronic